

令和元年度（2019 年度）市町村職員国内先進事例研修実施要領

1 目 的

本研修は、市町村職員が国内市町村等における先進事例について、現地視察及び関係職員等との情報交換等を通じて学ぶことにより、地方分権時代を担う市町村職員の資質の向上や人材の育成を図るとともに、個性豊かな地域づくりの推進に資することを目的とする。

2 研修テーマ及び研修先

- (1) 環境と経済を両立したエコなまちづくり「有田川エコプロジェクト」の取組について
【和歌山県有田川町（ありだがわちょう）】
- (2) 高齢者の営農を支える「らくらく農法プロジェクト」の取組について
【奈良県下市町（しもいちちょう）】
- (3) 高齢者の健康増進と居場所づくりをテーマとした商店街の賑わい再生の取組について
【奈良県大和高田市（やまとたかだし）】

3 日 程

令和元年（2019 年）10月27日（日）～10月30日（水） 4日間

4 行 程

別紙のとおり

5 研修参加対象者及び参加人数

対象者は次の各号に該当する者とし、参加人数は20名程度とする。

なお、1市町村からの参加人数は原則として1名とする。

- (1) 原則、係長職（相当職を含む。）以下の者であって、年齢30歳以上50歳以下（平成31年4月1日現在）の者
- (2) 研修の成果を職務に反映させることが期待できる者

6 参加費用

- (1) 参加費用のうち交通費（新千歳空港～関西空港等に係る往復航空運賃及び研修中の移動費用、研修先の受入れに係る費用）は、当協会が負担する。
- (2) 各市町村から新千歳空港までの移動に要する交通費、研修期間中の宿泊代及び食事代については、参加者負担とする。

7 その他

- (1) 研修班ごとに取りまとめたレポートを当協会に提出すること。
- (2) レポートは研修報告書として取りまとめ、当協会ホームページに掲載する。